

NPO法人 神奈川被害者支援センター

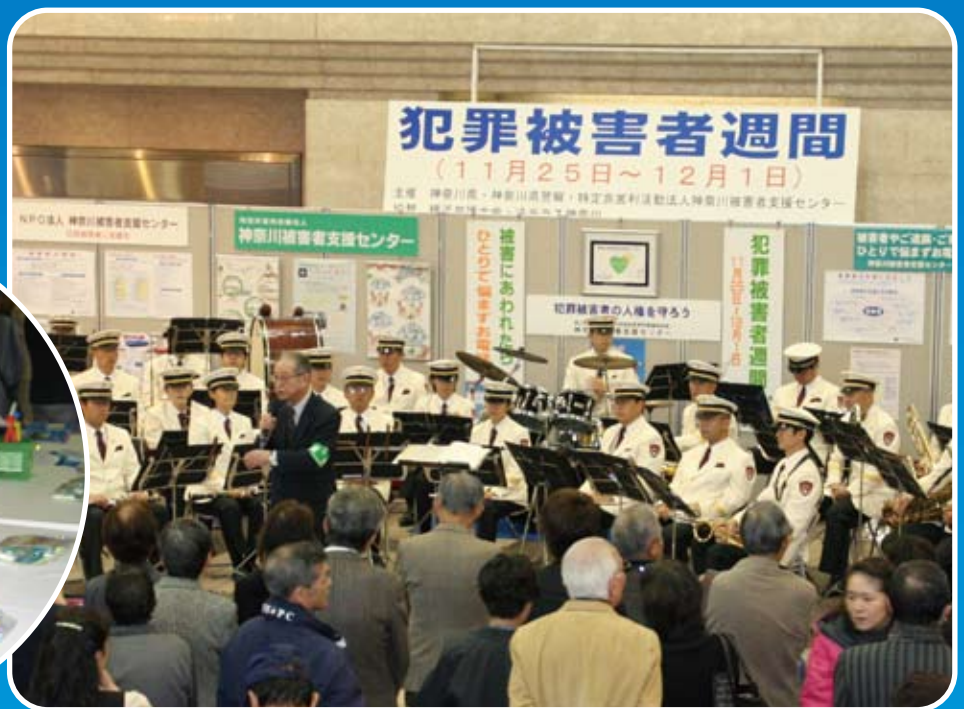


ハート メッセージ



平成22年1月1日 第11号

発行者：特定非営利活動法人 神奈川被害者支援センター 理事長 榊原 高 尋
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 ☎045-328-3720 FAX045-328-3723



ハートライン神奈川

TEL 045-328-3725

●受付時間:10:00~16:00

FAXによる相談も受け付けています。(24時間)

FAX:045-328-3723

ホームページ:kanagawa-vsc.npo-jp.net/



年頭挨拶



理事長 榑原 高 尋

新年おめでとうございます。平成22年の年頭に当たりご挨拶申し上げます。

昨年6月1日に「犯罪被害者サポートステーション」が、犯罪被害者やその家族が情報や支援を一元的に受けることができる「場」としてオープンされ、私ども神奈川県被害者支援センターが民間の支援団体として選ばれ参加しました。神奈川県・県警察・神奈川県被害者支援センターの三者がそれぞれの特徴を生かして被害者の相談に早期に対応できる体制となったことは喜ばしいことと思っております。

今年はこの体制を効率よく運営して全県下にその存在を知っていただくことが必要と思っております。県、県警、支援センターがそれぞれの垣根を払って、真に県民サービスにかかわる新しい試みを実らせたいと思っております。ご指導とお力添えをお願い致します。

皆様のご健勝をお祈り致しております。



神奈川県安全防災局 犯罪被害者支援担当課長 川 合 充

あけましておめでとうございます。

昨年は、4月に神奈川県犯罪被害者等支援条例が施行され、6月には「かながわ犯罪被害者サポートステーション」を開設するなど、犯罪被害者の方々を県民全体で支えるための足固めの年でした。

おかげさまで、神奈川県被害者支援センターが行っているカウンセリングおよび付き添い支援は、サポートステーション開設後の6カ月間で昨年度1年間の実績を大きく上回るなどの成果を挙げており、改めて神奈川県被害者支援センターのご尽力に感謝いたします。

今後も高まることが予想される支援のニーズに応えるためには、より多くのボランティアの方々のご協力が欠かせません。そこで、県でも昨年10月からボランティア登録制度をスタートさせるなど、新たな取り組みにも着手しているところです。

今後ともサポートステーションをさらに多くの温かい心で満たし、犯罪被害にあわれた方々の心のより所となるよう努めてまいりますので、皆さまのお力添えをよろしくお願い致します。



神奈川県警察本部警務部警務課 被害者対策室長 青 木 正 純

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、清々しい心持ちで新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、4月1日に神奈川県犯罪被害者等支援条例が施行されるとともに、6月1日からは、全国的にも例のない支援体制として「かながわ犯罪被害者サポートステーション」が開設され、神奈川県、県警察、神奈川県被害者支援センターの三者で、総合的な被害者支援を実施しております。

犯罪発生直後から平穏な生活を取り戻すことが出来るまで、多岐にわたる要望にきめ細かく対応するためには、県、県警、支援センターとの平素の情報交換をはじめとした幅広い協力関係が大切であります。

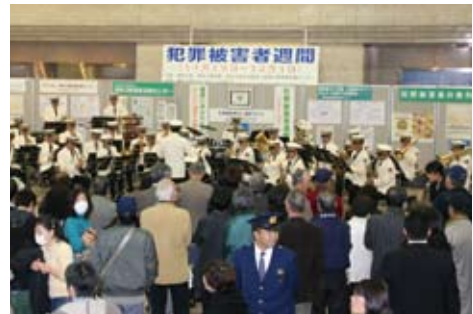
犯罪被害に巻き込まれた人たちにとって、各種支援活動が一条の光となりますように、今後とも県、県警、支援センターとの連携を強化しながら安心できる支援体制の輪を築いてゆきたいと思っております。

結びに、今年1年が皆様にとりまして充実した1年となりますことを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

犯罪被害者支援キャンペーン活動

犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に合わせ、事件・事故の被害者等に対する理解を深めるとともに、支援を要請するキャンペーン活動を行ったほか、国民のつどい神奈川大会を支援し、人権メッセージ展に参加しました。

そごう前広場
キャンペーン



国民のつどい
(神奈川大会)

人権
メッセージ展



緑署・
中山駅前
キャンペーン



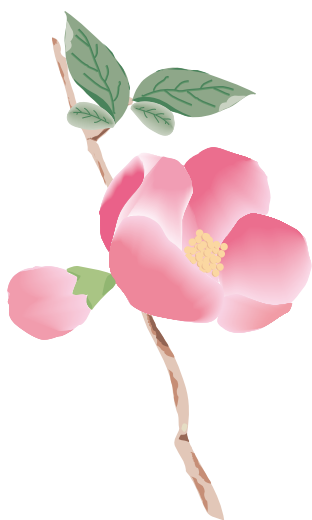
「カウンセラーから見た被害者支援」

臨床心理士 菅野陽子

「時間よ、止まれ！」という叫びが、被害者の方と面接（カウンセリング）するたびに私のこころの耳に響いてきます。時間のコントロールはどんな人間の力でもどうすることもできません。それゆえ無力感にさいなまれ、世の中の理不尽さに打ちのめされてしまう被害者の方々に、カウンセラーとしてどのような支援ができるのでしょうか。

当センターにおけるカウンセラーの役割は、主に犯罪や交通事故等による被害者の方々へのカウンセリングによりその方々が本来持っていた力を自ら気付かれて、ご自身のこころのケアがご自分でできるようになるきっかけを作ることではないかと考えています。

こころに寄り添い、被害者の方々が「どのような被害にあったか」を語ることから、「どのように生きていくか」を語る「時」を共有できるとすれば、私の存外の喜びです。

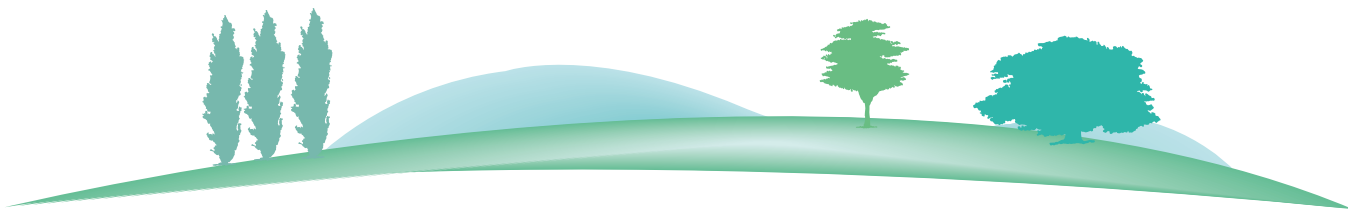


臨床心理士 丸山茂人

私は心の支援をするため、カウンセラーとして従事しています。被害者支援という専門的なサポートの難しさと、被害者の方のはかりしれない苦しみというものを、日々肌で実感しています。犯罪や事故などに巻き込まれた人たちは、身体の傷を負ってしまうだけでなく、心の傷が深く残ってしまいます。それが癒えるまでには相当な時間がかかる場合が多く、また心の治療には繊細で丁寧な配慮が必要になってきます。事故の後処理が終わったらそれでよし、犯人が捕まり裁判や刑罰が決まったらそれでよし、というわけにはいきません。

被害者は自責感と悔悟の念、怒りが自分に向き、生活を自然な心の状態で送れない日々が続きます。心の理解を通して対話をすることが大切です。

これからも被害者の方としっかりと向き合い、語られる言葉に耳を傾け、心の叫びを理解し、その方が苦しみを力に変えてくことができるように対応していきたいと思えます。



「電話相談に関わって」

相談員 鈴木 裕子

私が電話相談に関わってから、早や5年目。年数だけは経っているが、電話に出る時は未だに緊張する。他でも相談業務に就いているにも関わらず、どうしてこちらのセンターだけが慣れないのか。たぶん、専門知識の乏しさを感じているからだろう。被害者が利用できる制度や、犯罪・裁判に関する専門知識など、研修で一度は学んだはずのものが自分のものとなっていない。しかし、電話相談員に一番求められるものは、そういった専門知識なのだろうか？もし私が犯罪の被害者になったとしたら…。(以下妄想)

〔自宅電話の前で、パンフレットに書かれた番号を見つめ、勇気を振り絞りボタンを押す。「はい、ハートライン神奈川です。」警戒心を持ちつつ、事件について一所懸命説明する。「質問ですが…」質問の内容や訊き方によって、話す気が失せるか、もしくは抵抗無く自分をさらけ出していこう。ひと通り話が終わり、専門知識に基づく応答を期待する。「つらい思いをされましたね。」「大変な状況でよくお電話下さいましたね。」と労いの言葉。ひとりロールプレイにもかかわらず、張り詰めていた気持ちが一瞬緩み、目頭が熱くなった。〕

専門知識はあったに越したことは無い。しかしそれ以上に私たち相談員に課せられたことは、「このセンターなら、この先、何か力になってくれるかもしれない」という小さな希望と信頼感を被害者の方に持ってもらうことではないだろうか。それが継続支援へと繋がっていくと私は考える。

相談員 碓井 晴恵

昨今のニュースを見ていますと、私たちはいつどこで事件、事故の被害者になっても不思議ではないとつくづく思います。突然被害に遭われた方と電話でお話する時、大変な状況の中、本当によく勇気をもってかけて下さったと感謝の気持ちでいっぱいになります。実際お話をうかがっていて、本当に自分が電話をかけて下さった方の心に寄り添えているのか、不安に思うこともしばしばありますが、今までなかなか話すことができなかった思いを、安心して言葉にしていただげる場を作りたいと思っています。被害に遭われた方が、一人で苦しい思いを抱えることなく、一人ではないと感じていただけるような支援をしていきたいと願っています。またお一人お一人に必要な情報を的確にお知らせすることができるよう事務局の方々や諸先輩の方々と相談してお伝えしていますが、まず自分自身が常に学び続けていることが必要だと感じています。

ボランティア相談員募集

相談員の方には「犯罪被害者支援ボランティア養成講座（初・中級）」

「犯罪被害者等支援員養成講座（上級）」を受講していただきます。

問い合わせは下記まで

神奈川被害者支援センター 事業課 TEL. 045-328-3721

寄付感謝報告

平成20年4月～平成21年12月までにご協力いただいた賛助会員・寄付者の方々です。
今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター 理事長 榊原 高 尋

■個人賛助

藍原 繁樹
秋山 雅彦
飛鳥井 功
飯田 秀樹
池田 佑介
石原 英男
伊藤 猛
上田 鼓
内山 素子
江口 新介
江幡 琢也
大岡 弘尚
大島 邦雄
大竹 准一
大塚 信子
岡田 健

荻原 公世
尾崎 裕
小田 康行
柿沼 玲子
勝亦 浩
金子 喜則
上小牧 昭二
川合 充
川島 哲
北出 容一
北村 美帆
浄園 英史
神山 光義
近藤 静子
斉藤 由実子
三枝 茂正
早乙女 昭
酒井 宗吉

榊原 隆子
佐久間 幸志
笹山 久子
佐宗 茂
佐藤 きさい
佐藤 秀敏
佐藤 正義
佐渡 雄三
篠田 浩
清水 昭人
城田 為次
神 亜希子
杉江 嘉美
鈴木 達也
鈴木 雅英
鈴木 稔
鈴木 雪子
高澤 幸夫

高橋 陽一
瀧川 一政
滝口 正始
竹内 久恵
橘 義夫
田中 昭太郎
玉盛 勝
土屋 うらら
手塚 信廣
寺中 英一
徳永 義宏
豊島 迪彦
中野 恵理
中村 毅
中村 満智子
灰原 宇多子
花家 憲也
林 志保

葉山 美沙
伴 次郎
繁多 裕子
平野 みさほ
福本 真己
藤井 良一
星野 静子
前田 勝重
前田 恵子
松坂 秀雄
松永 裕
松原 敏勝
松本 徹
三上 佳巳
水内 康人
三橋 朝生
宮川 総一郎
宮田 正子

宮本 次郎
向井 正晴
森田 俣弘
森田 洋一
矢崎 俊夫
山形 暁
山崎 謙治
山崎 泰男
山下 広昭
横山 俊二
米塚 てつ子
原 幹朗
寺田 之彦

■団体賛助

(株)アーバン企画開発
(株)愛鶴
(株)AOKIホールディングス
青山学院大学
麻生安全運転管理者会
麻生交通安全協会
(有)麻生自動車
(株)アサヒプリンティング
あざみ野不動産(株)
足柄上地区職場警察連絡協議会
足柄プロパンガス協同組合
厚木警察署管内安全運転管理者会
(株)厚木自動車学校
(株)アリーナ
(株)アルト工業
アンリツ(株)
(学)和泉中央学園泉ヶ丘幼稚園
伊勢原警察署親睦会

(株)伊勢原自動車学校
(宗)伊勢山皇大神宮
(株)イムラ封筒相模原工場
浦賀警察署警和会
(株)エイワ
(有)荻野工業
小田原地方金融機関防犯連絡会
(株)オフィス ゴールド
海洋電子工業(株)
カウンセリングルームウブカタ
春日幼稚園
(有)カトウ物産
神奈川区防犯協会
神奈川警察署親和会
(社)神奈川県安全運転管理者連合会
神奈川県企業防衛対策協議会
神奈川県行政書士会 平塚支部
神奈川県警察官友の会
神奈川県軽自動車協会
(社)神奈川県警親会

(社)神奈川県警親会 茅ヶ崎支部
(社)神奈川県警備業協会
(財)神奈川県警友会
(財)神奈川県交通安全協会
(社)神奈川県歯科医師会
神奈川県市長会
(社)神奈川県指定自動車教習所協会
神奈川県自転車防犯協会
(社)神奈川県自動車会議所
神奈川県自動車交通共済協同組合
神奈川県自動車車体整備協同組合
(社)神奈川県自動車整備振興会
神奈川県自動車電装品整備商工組合
神奈川県自動車販売店協会
神奈川県商工会議所連合会
(社)神奈川県信用組合協会
神奈川県信用農業協同組合連合会
神奈川県石油業協同組合
(社)神奈川県タクシー協会
(社)神奈川県トラック協会

(社)神奈川県バス協会
(社)神奈川県防犯協会連合会
(社)神奈川県薬剤師会
神奈川県遊技場防犯協力会連合会
神奈川県臨床心理士会
神奈川工業会
カナガワ交通(株)イースタン
神奈川相互交易(株)
(株)神奈川葬祭
神奈川中央交通(株)
神奈川トヨタ自動車(株)
神奈川ドライビングスクール
(株)ケイティエス
神奈川銘友会
神奈川流通商福祉防犯協力会
金沢安全運転管理者会
金沢企業等防犯連絡協議会
金沢交通安全協会
金沢防犯協会
金光商事(株)

鎌倉市歯科医師会
 鎌倉青少年交通安全連絡協議会
 鎌倉交通安全協会
 (株)鴨居自動車学校
 川崎警察署幹部会
 川崎信用金庫
 川崎鶴見臨港バス(株)
 (株)KANTOモータースクール川崎校
 (株)KANTOモータースクール溝ノ口校
 (株)KANTOモータースクール
 横浜西口校
 (株)観音崎京急ホテル
 北久里浜商店街振興組合
 キヤノン(株) 小杉事業所
 (医)興生会 相模台病院
 (株)グローバル横浜警備保障
 (株)京急自動車学校
 京急中央交通(株)
 (株)京急百貨店
 (株)ケーエヌサービス
 公安警備保障(株)
 港南安全運転管理者会
 港南区暴力団排除対策推進協議会
 港南交通安全協会
 (株)国際連邦警備保障
 (株)コジマ企画
 栄運輸(株)
 相模中央交通(株)
 相模原南交通安全協会
 (宗)寒川神社
 JA横浜きた総合センター
 (株)式典船山博善社
 (有)重一商事
 重田建設企業(株)

(株)清水康益社
 (資)清水葬具店
 (株)春秋商事
 (宗)常泉寺
 湘南ステーションビル(株)
 翔優コーポレーション(株)
 (株)新鶴見ドライビングスクール
 (株)新都市警備
 (株)鈴木油脂
 住友重機械工業(株)
 横須賀製造所
 ソニー(株)
 厚木テクノロジーセンター
 大乘寺
 (株)たいよう共済 神奈川支店
 田浦警察署 警和会
 田浦防犯協会
 高砂交通(株)
 (株)高島屋
 高津防犯協会
 (株)高橋葬儀社
 宝警備保障(株)
 (株)辰美屋葬儀店
 (医法)たま日吉台病院
 茅ヶ崎警察署工場事業所防犯連絡会
 茅ヶ崎・寒川防犯協会
 (株)近澤レース店
 (株)千歳観光
 都筑安全運転管理者会
 都筑区懇話会
 都筑交通安全協会
 鶴ヶ峰自動車学校
 鶴見安全運転管理者会
 鶴見区防犯協会

鶴見警察署親和会
 鶴見交通安全協会
 (株)データネットワークセンター
 (株)トーエル
 (株)都南自動車教習所
 戸部警察署親睦会
 東京ガスエコモ(株)
 中原交通安全協会
 (株)中原屋
 中村建設(株)
 西区防犯協会
 (株)日興建設
 (株)日新
 日端テクノ(株)
 (社)日本自動車機械工具協会
 横浜支所
 (財)日本自動車査定協会
 神奈川県支所
 (社)日本自動車連盟神奈川支部
 日本司法支援センター
 神奈川地方事務所
 日本端子(株)
 (株)ネエチア
 橋本自動車学校
 秦野自動車教習所
 (株)花のプロデュース
 東日本旅客鉄道(株)
 (宗)平沼神社
 (社)藤沢市薬剤師会
 藤沢防犯協議会
 富士倉庫(株)
 (株)藤田電機製作所
 富士見斎場(株)
 ふじみ式典(株) 海老名友の会

ふじみ式典(株) 座間友の会
 (株)フジライン
 (有)二葉
 プララ都市開発(株)
 (株)福澤モータースクール
 南区更生保護女性会
 南警察署親睦会
 (株)南横浜自動車学校
 宮前交通安全協会
 (株)ヤナセ
 山崎製パン(株)横浜第2工場
 横須賀防犯協会
 横浜泉ライオンズクラブ
 (株)横浜エアアンドシーサービス
 横浜駅西口振興協議会
 横浜駅東口振興協議会
 (社)横浜銀行協会
 (社)横浜港防犯協会
 横浜市漁業協同組合
 (株)横浜自動車学校
 横浜市旅館組合連合会
 (有)横浜体育クラブ
 横浜西口タリークラブ
 横浜ポートヒルライオンズクラブ
 藤田観光(株)
 横浜ワシントンホテル
 横須賀市役所
 (株)林間葬祭
 (株)ロイヤルホール
 (株)和田
 (有)横山不動産
 戸塚警察署親和会
 (医)産育会 堀病院
 匿名 1団体

■個人寄付

有田 尚樹
 犬山 英樹
 井上 信代
 植木 直務
 遠藤 茂敏
 荻原 公世
 柿沼 玲子
 勝島 聡一郎
 加藤 昌親
 金澤 美幸
 金坂 環

鹿又 昇
 川野辺 恵三子
 北出 容一
 畔柳 秀勝
 鴻巣 堯子
 小西 典子
 佐藤 利行
 佐渡 雄三
 佐野 ユキ子
 嶋田 希満子
 菅野 陽子
 鈴木 雅英
 曾我 喜美子

武内 大徳
 玉盛 勝
 辻 孝弘
 中野 恵理
 灰原 宇多子
 原 豊文
 伴野 誠
 船越 融
 星野 静子
 堀本 久美子
 松永 裕
 松本 純也
 三橋 朋樹

村尾 泰弘
 目黒 実
 山田 美和子
 和田 久寿
 原 幹朗
 石川 忠一
 匿名 2名

■団体寄付

鹿島婦人会神奈川支部
 神奈川県警察本部警務部
 警務課 もみじ会
 神奈川県警第一機動隊
 神奈川福祉事業協会
 神奈川県遊技場協同組合
 (株)川崎精機工作所
 杉山土建
 茅ヶ崎地区更生保護女性会
 横浜北口タリークラブ
 宝警備保障(株)

神奈川被害者支援センターの活動を支えて下さい

賛助会員（個人・団体）・寄付者を募集

神奈川被害者支援センターは、皆様のあたたかいご支援によって支えられています。ぜひとも賛助会員・寄付者として活動にご賛同ご協力を賜りますようお願いいたします。

- ◎個人賛助会員 1口 3,000円
- ◎団体賛助会員 1口 10,000円 *1口以上、何口でも可
- ◎寄付:金額や口数に関係なく随時受け付けています。

【個人賛助会費・団体賛助会費・寄付金に関しては税制優遇措置が受けられます】

振込先(ゆうちょ銀行の振替用紙をご利用ください。)

口座番号 00270-9-72111 口座名義 NPO法人神奈川被害者支援センター

●募金箱の設置にご協力を！

NPO法人全国被害者支援ネットワークの企画・作成により募金箱を作成しました。

全国47か所の加盟団体(民間被害者支援団体)が募金活動を行っています。事件事故にあわれた被害者が安心して相談できる支援体制構築のため、また犯罪被害者支援の広報のために、募金箱設置にご協力いただける企業・店舗・施設等をご紹介ください。

ご連絡をお待ちしております。(TEL. 045-328-3720)



自助グループ活動もおこなっています

自助グループ 「ジュピター」

目的

交通死亡事故被害者遺族を対象。

- ① 安心して感情を吐露し、気持ちを分かち合い、支えあう場の提供。
- ② 人と人とのつながりを取り戻し、互いを認め合い、社会からの孤立を防ぎ、自ら精神的に回復していくための支援。

☎ 問い合わせ(事業課) 045-328-3721

編集後記

これまで年1回発行の「ハートメッセージ」でしたが、今年度は3回発行することができました。私は初めて広報啓発部員となり、広報の大切さや難しさを実感しました。これからも少しでも多くの方々に「ハートメッセージ」を読んでもらえるよう、そして神奈川被害者支援センターの活動をご理解、ご支援していただけるような広報活動をめざしていきます。

広報部会 S.I